

## ご存知ですか？河川の水利用

あいろーとNo.108にて「河川の水はさまざまな用途で利用されているので灯油など油類の流出に気をつけて下さい!!」と紹介させて頂きました。

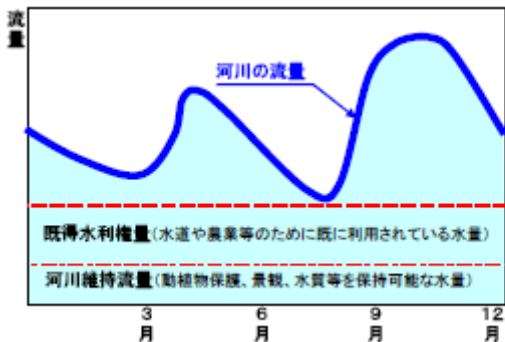
実際に河川の水は、水道・農業・発電などに利用され、皆さんの生活に深く関わっていますが、河川から水を取るためには、河川管理者の許可を得ていること、また1日に河川から取れる水の量や取れる期間が決められていることをご存知でしょうか？

河川に流れている水の量は、常に一定ではなく、雨の降る季節は多く、雨が降らなければ少なくなります。

したがって、水を利用したい人が自由に好きな時に好きな量の水を取っていくと河川の水が減り、魚が死んでしまったり、水質が悪くなるなど環境が悪化するほか、水道水が不足する、田んぼに水が入らずにコメが作れないなど皆さんの生活にも影響を及ぼすことになってしまいます。

そこで、河川管理者は動植物の保護、漁業、景観、水質の保持等を考慮して定める流量(『維持流量』といいます。)と、既に認めている水道や農業などの水利用量を足したものを「河川として正常な機能を保持するために必要な流量(『正常流量』といいます。)」とし、その水利用量を把握するために1日に河川から取れる水の量や取れる期間を定めて許可しています。

### ○河川の流量と正常流量の関係



正常流量  
 (河川の正常な機能を維持するために必要な水量)



↑水道用水や農業用水のために河川から水を取るための施設。直接、河川の中に水中ポンプを設置したり、水路などで施設に水を導いて水を取るなど施設により異なります。施設には、水を取る量や許可期間を記載した標識が掲示されています。



## 遊水地小堤整備に伴い工事車両が出入りしています。

あいろーとNo.112でもお知らせしてましたが、今年度より第1・2遊水地において小堤初期越流堤の工事を行っています。現在、第1遊水地では東北新幹線の橋梁付近から柵の瀬橋下流までの区間で施工しており、それに伴って、ダンプトラック等が一般道を走行して柵の瀬橋付近から工事現場へ出入りしています。

工事期間中は、付近を通行される皆様には何かとご不便をお掛けしますが、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



↑ダンプトラックは常に安全運転に心掛けています。また、交通誘導員も配置してさらに安全確認に努めています。

